

令和3年度「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰 受賞者一覧

番号	推薦者名	受賞者の名称	表彰種別	通算年数	活動内容等	活動分野	主な対象
1	北海道	大村 博	功労者	39年	地域の障害者を対象にしたボッチャやパラアイスホッケー（旧アイススレッジホッケー）などの体験会・教室を企画し、スポーツに親しむ機会が少ない障害者に競技のルールや基礎的な技術などの指導をしている。長年にわたり、パラリンピックや全国障害者スポーツ大会に関わり、障害者スポーツの普及及び認知度向上に貢献している。	スポーツ	すべて
2	北海道	苫小牧市障がい者パソコンボランティアの会	功労者	20年	障がい者の社会参加に向けたICTに関する学習機会の充実・支援のため、苫小牧市教育委員会とパートナーシップ協定を締結してパソコン教室を開催している。障がいのある方にとって学びやすく効果的なカリキュラムを構築し、一人一人に応じたパソコン活用技術の指導を行っている。	学習	すべて
3	青森県	小山内 敬子	功労者	23年	障害者上級スポーツ指導員等、多くの資格を取得しながら障害者スポーツの支援及び普及活動をしている。スポーツイベントで手話通訳者として運営を支える他、新たなスポーツチーム結成や青森県障害者スポーツ協会設立にも尽力し、多数のイベント・体験教室の企画運営に携わっている。	スポーツ、学習	すべて
4	岩手県	社会福祉法人光林会「るんびにい美術館」	功労者	13年	障害者芸術に気軽に触れられる場を目的として社会福祉法人光林会が設置した施設である。企画展を多数開催するなど、継続して障害のある作家が創造した表現作品を展示している。また、併設しているカフェやベーカリーで障害者がスタッフとして働くなど、芸術分野にとどまらない活躍の場の提供がある。	文化芸術	知的障害、精神障害
5	岩手県	特定非営利活動法人アートで明るく生きるかわさき	功労者	16年	障害者と地域住民とのアートを通じた交流や、障害者を含む様々な人たちによる多彩で豊かな表現活動を行っている。完成した作品は、全国の様々な展示会で展示・発表する他、オリジナルの絵葉書やレターセット等を商品化し、道の駅やイベントなどで販売している。	文化芸術	すべて

6	秋田県	潟上天王つくし苑	奨励者	2年	地域の公民館等を活用して生涯学習講座を実施している。活動には高校生ボランティアが参加し、障害の有無を越えた同世代交流が行われている。障害者が定期的・継続的にテーマ性をもって学ぶプログラムを実施しており、コミュニケーション力の伸長、自己実現の機会にもなっている。	学習、スポーツ等	主に知的障害
7	山形県	尾花沢ジュニアアスリートクラブ	功労者	17年	陸上競技のスポーツ少年団として「障害の有無に関わらず誰でも参加できるクラブ」の理念のもとで活動を続け、障害者が気軽にスポーツに参加できる環境を整えている。このクラブをきっかけにジュニアパラピッククラブも設立され、世代を超えて障害者が様々な活動に参加している。	スポーツ	すべて
8	茨城県	キャッチ・ボイス	功労者	24年	音訳ボランティアサークルである。広報誌の音訳の他に、障害者施設を訪問してエッセイ・詩・短編小説等の朗読や紙芝居を行っている。「キャッチ・ボイス」のサークル名のとおり、声を一方的に届けるのではなく、キャッチボールのように双方向でのやりとりができるように工夫しながら活動している。	情報保障	視覚障害
9	千葉県	NPO法人スマイルクラブ	功労者	20年	自閉症児の母親からの相談をきっかけに、発達障害児の運動教室を開催した。鉄棒や跳び箱、風船バレーなどの種目を中心に、障害の有無にかかわらず一緒に活動するインクルーシブ形式の講座を開講している。また、パラバドミントンなど出前授業を全国各地の社会体育施設や学校等で20回実施している。	スポーツ	すべて
10	千葉県	一般社団法人AOAart	奨励者	7年	自閉症者の絵画制作をサポートするボランティアと絵画指導をする指導者として構成する団体である。定期的なワークショップや展示会、アート作品に関わる商品の企画制作・販売などを行う。一人一人の個性を最大限に活かして作品のクオリティを向上させるなど、より専門的な生涯学習支援を行っている。	文化芸術	自閉症
11	東京都	練馬区聴覚障害者協会	功労者	53年	障害当事者団体と地域の手話サークルが連携し、手話について理解を深め、手話言語をコミュニケーション手段としている聴覚障害者の生活自立と社会参加を促進させることを目的に長年活動している。初級から手話通訳者養成クラスまでの5つのクラスがあり、年間約280名が受講している。	学習	すべて

12	東京都	認定特定非営利活動法人トラッソス	功労者	15年	都内中心に知的障害児・者のサッカー教室などを実施している。今年度で14回目を迎える全日本知的障害児・者サッカー競技大会は、毎年2000名近くの選手団やボランティアが参加する。大会は参加者のニーズに応じ、4つの実施種目で構成され、誰もがスポーツを楽しみ、親しめる工夫をしている。	スポーツ、学習	知的障害、発達障害
13	東京都	渋谷区知的障害者教室（えびす・GAYA）	功労者	41年	障害者の生涯学習を担う社会教育の場として先導的な活動を行ってきた。音楽や調理などの体験プログラムや、地域グループとの交流プログラム、本人活動プログラムなど、活動内容も多岐にわたる。コロナ禍でもZoomを使ったオンライン開催やYouTubeでの配信など、学びの機会を保障している。	学習	知的障害
14	東京都	葛飾区ボッチャ協会	奨励者	2年	2018年設立で活動年数は2年間であるが、地域の様々な団体と連携しながらボッチャ体験会や大会を開催している。地域福祉・障害者センター、障害者生活介護施設では、ボッチャの普及だけでなく、障害者に対するスポーツの機会の提供、交流の場の提供という大きな役割を担っている。	スポーツ	すべて
15	神奈川県	アンサンブル麻生OBOG会	功労者	12年	県立麻生養護学校高等部アートコースの音楽グループの卒業生の集まりである。卒業生と家族、教員等が月1回集まり、バイオリンやフルートの練習を続けている。レッスンの成果は毎年地域のコンサート等で発表している。生涯学習の場として保護者が運営し、関わる演奏家や教員はボランティアである。	文化芸術	知的障害、肢体不自由
16	富山県	声のライブラリー友の会	功労者	50年	視覚障害者の読書活動を支援するボランティア団体である。50年にわたり、3700タイトルを超える録音図書を製作して富山市立図書館に納めている。図書館では120名以上の視覚障害者が利用登録をして、読書を楽しんでいる。音訳活動の他にも、音訳講座やボランティア養成講座も実施している。	情報保障、文化芸術	視覚障害
17	石川県	手話サークル「積木の会」	功労者	45年	毎週木曜日に定例学習会を開催し、聴覚障害者がニュースや地域の出来事などの身近な話題について手話で聞くことができる学び（情報交換）の場を提供している。また、生涯学習フェスティバルなどの様々なイベントへの参加、小学校への出前手話講座など、地域住民との交流を積極的に進めている。	学習、情報保障	聴覚障害

18	福井県	「みんなで舞台に立とう」を広げる会	功労者	16年	特別支援学級・学校の児童生徒、卒業生が、和太鼓パフォーマンスやダンスを舞台上で発表する機会をつくっている。毎年25回程度のワークショップを経て、舞台上での発表はこれまで15回開催されている。また、月に一度開講のダンスレッスンや、不定期のアートワークショップなども行っている。	文化芸術	すべて
19	福井県	わらいSHOKUDO	奨励者	4年	障害当事者が参画するボランティア団体である。小学校における福祉教育への協力、町内のバリアフリーチェック、障害者目線で考える防災訓練などの活動を行っている。他にも「ヘルプマーク」の普及活動を積極的に行い、障害理解と、助け合いによるやさしい町づくりに尽力している。	学習、文化芸術	すべて
20	岐阜県	一般社団法人みたけスポーツ・文化倶楽部	功労者	10年	総合型地域スポーツクラブであり、障害者と共にボッチャや軽スポーツを行う「ひかりの広場」を年4回開催している。「ひかりの広場」では、スポーツ体験だけでなく、盆踊りや琉球太鼓にふれる機会もあり、地域での交流の機会の創出や健康づくり、仲間づくり、生きがいづくりにつながっている。	スポーツ、文化芸術	すべて
21	静岡県	特定非営利活動法人藤枝光文庫	功労者	40年	点字絵本等の製作を行い、視覚障害者の読書活動の機会を保证してきた。製作したものは全国の視覚支援学校に寄贈され、長年にわたり児童生徒の読書活動を支えてきた。また、高校生などに対して実施する点字講習会は、点字について学ぶだけでなく、障害理解や共生社会の理解という役割も担っている。	文化芸術、情報保障	視覚障害
22	愛知県	朗読ボランティア声のたより	功労者	40年	朗読録音活動を行うボランティア団体である。市の広報誌や市議会だより、市民病院の院内報など、生活に必要な情報の音声訳を作成している。また、視覚障害者同士の情報交換の機会「ふれあい茶話会」を毎年開催するなど、長年にわたって視覚障害者の生活や学習活動を支援している。	情報保障、学習等	視覚障害
23	愛知県	豊田市中心図書館音訳・編集ボランティア	功労者	22年	図書館で選書された本や、利用者からのリクエスト本などを音訳・編集している。録音図書は豊田市中心図書館の資料として所蔵するだけでなく、サピエ図書館でも利用可能である。他にも毎月発行している障害者コーナーだよりや、中日新聞の記事を継続的に音訳して利用者へ提供している。	学習、情報保障	視覚障害、肢体不自由

24	京都府	トヨタカローラ京都株式会社	奨励者	4年	特別支援学校等と連携し、ボッチャ体験会や大会を開催している。2017年は10回程度であったが、2019年には50回の体験会を実施した。2020年に開催した大会には64チーム、約260名が参加するなど、障害者スポーツにとどまらず、社会参加及び生涯学習の機会として発展が期待できる。	学習、スポーツ	すべて
25	兵庫県	朝来市和田山生涯学習センター	功労者	17年	主に知的障害者の社会自立のために、学びの機会を提供している。目的や目標を明確にして年間計画を立案し、買い物や調理等の日常生活だけでなく、スポーツや文化芸術、災害時対応等、生活全般を網羅する活動内容としている。また、他市町の障害者も受け入れ、地域を越えた取組を推進している。	学習	知的障害、発達障害
26	奈良県	社会福祉法人わたぼうしの会「たんぽぽの家」	功労者	34年	アートをとおして自由に自分を表現し、互いの感性を交感することができるコミュニティ・アートセンターである。障害者が自分の得意なことを生かして働き、興味のあることを学び、それを発信、共有する場となっている。また、地域の人たちとともに学ぶ「コミュニティ・カレッジ」も運営している。	文化芸術、学習等	すべて
27	奈良県	奈良県点訳グループ青垣会	功労者	58年	長年にわたって活動する点訳のボランティア団体である。文学や歴史などの多様なジャンルのほか、親子で楽しむ「触る絵本」、年齢層に応じた雑誌、県内の伝統行事に関する書物などの点訳を行っている。また、教科書や大学受験参考書など、多様化する要望にも対応し、視覚障害者の学びを支援している。	情報保障、学習	視覚障害
28	和歌山県	社会福祉法人 一麦会	奨励者	3年	「ゆめ・やりたいこと実現センター」を設立し、定期的集える場（夕刻のたまり場）を中心に、障害当事者が自ら“夢ややりたいこと”を発信し、企画・運営することについてサポートしている。障害当事者の課題解決能力や協働力・協調力・調整力・自助力・共助力を高める効果が見られている。	学習、スポーツ等	すべて
29	岡山県	ゆうあいネットPCVOL	功労者	18年	視覚障害者を対象にICT活用を支援するボランティア活動を行っている。パソコン等のICT機器の活用方法やインターネットを利用した読書、音楽を楽しむ方法等について、毎月講習会を開催している。県内の多くの視覚障害者にとって、なくてはならないボランティア団体となっている。	情報保障	視覚障害

30	広島県	朗読録音グループ「声の友」	功労者	41年	視覚障害者との連携を深めるとともに、福祉の充実に協力することを目的に、朗読や音訳等の活動を行っている。長年にわたり、市広報や市議会だより、障害者プラン等の音訳を行うほか、障害者支援施設等を毎月訪問し、資格取得のための医学専門書なども含めた要望のあった書籍を朗読・音訳している。	情報保障、学習	視覚障害、肢体不自由
31	広島県	HBG重度・重複障害児スポ・レク活動教室「はなまるキッズ」	功労者	14年	重度・重複障害児を対象としたアダプテッド・スポーツを毎月1回実施している。学校や施設、病院以外で運動・スポーツに親しむ貴重な場となっている。地域の大学の協力もあり、各分野の専門的知見のある質の高いボランティア支援者が活動を支えている。開発したスポーツ種目は他県にも広がっている。	スポーツ	重度・重複障害
32	山口県	山口県点訳音訳ボランティア連絡会	功労者	53年	50年以上にわたり、視覚障害者の情報保障に関わる活動を行っている。視覚支援学校や図書館と連携しながら、視覚障害者への学習保障や情報保障についての取組を続けている。また、音訳・点訳に関する講習会や、英語点訳グループ研修会など、ボランティアや指導者の養成にも注力している。	情報保障	視覚障害
33	徳島県	さくら学級	功労者	21年	教え子の余暇の充実のために教員が設立し、保護者と共に毎週土曜日に活動を行っている。内容は水泳や調理や生け花、楽器演奏など多岐にわたり、劇や手芸の活動成果はイベント等で披露している。また、郷土芸能の阿波踊りにも取り組んでおり、郷土のよさを知ると同時に様々な人と関わる機会になっている。	スポーツ、文化芸術	知的障害
34	徳島県	布川 利彦	功労者	43年	長年にわたり、障害者の水泳指導及び選手育成に尽力してきた。水泳指導資格等を取得し、全国障害者スポーツ大会水泳競技の指導に関わるだけでなく、多くの障害者に対してスポーツに親しみスポーツの楽しさを学ぶ機会を提供している。85歳の現在もプールに出向いて精力的に活動をしている。	スポーツ	すべて
35	愛媛県	伊予地区精神保健ボランティアグループしおさい	功労者	25年	精神障害者を支援するボランティア団体であり、デイケア・サービス事業所や病院等での定期的な活動などを行っている。また、障害者同士の交流事業として「わくわく交流会」を主催したり、バーベキュー等交流会を開催したり、居場所づくりに関する活動を行い、地域社会との橋渡し役を担っている。	社会参加促進	精神障害

36	愛媛県	音訳ボランティア もみの木	功労者	10年	視覚障害者や高齢者への情報提供のために、月に1回集まり、町内の各種情報（広報、社協だより等）や書籍等の音訳を行っている。音訳テープを届ける際は、些細な会話から、意見や希望を聞き取るようにしており、障害当事者とボランティアの交流と相互理解の機会となっている。	情報保障	視覚障害
37	福岡県	キャンパス	功労者	10年	自宅と学校、自宅と職場の往復だけの生活になりがちな高校生以上の障害児・者を対象として、余暇支援活動を行っている。仕事帰りにホッとできる「おしゃべり広場」やカフェ、バスハイク、お楽しみ会、ボランティア活動、スポーツ体験などの個々の能力に応じた多様な活動をとおり、地域での交流の場を提供している。	スポーツ、文化 芸術	すべて
38	福岡県	遠賀手話の会	功労者	33年	聴覚障害者と交流しながら、本だけでは得られない手話の魅力を学び、情報交換している。コロナ禍でも遠隔で手話による情報保障が可能なこと等も聴覚障害者と共に学んでいる。また、地域の福祉まつりに毎年参加し、手話歌やパネル等で「手話は言語」であること等、聴覚障害者について正しい理解を広めるための啓発活動も行っている。	学習、情報保障	聴覚障害
39	大分県	社会福祉法人 太陽 の家	功労者	55年	1965年の開所当初から障害者スポーツを推奨し、現在はサンスポーツセンターを運営し、障害の有無に関わらず参加者の健康維持と社会参加促進を目的とした活動の場を提供している。車椅子バスケットボールやフライングディスク、ボッチャなどの10のクラブが週に2回程度活動している。	学習、スポーツ	すべて
40	宮崎県	やまびこ	功労者	31年	毎月点字新聞を作成し、視覚障害者へ届けている。点字新聞の内容は多岐にわたり、市広報をはじめ、ニュースや趣味につながるような詩、俳句、料理レシピなど、読者が喜ぶような内容を選んでいる。タイプライターや点字プリンタが主流になるなか、一点一点真心を込めて手打ちで作業を行っている。	情報保障、学習	視覚障害
41	仙台市	本人・若年認知症の つどい「翼」	功労者	14年	認知症の本人や家族とともに、本人ミーティング、家族相談会、合唱などの活動を行っている。本人や家族が仲間と出会い、話し合い、共感し合うことを通じて、前向きに生きて行こうとお願いいただけるように、一緒に楽しみながら活動している。また、地域での本人や家族の発信が認知症の認識を変える契機となっている。	学習、文化芸術等	すべて

42	さいたま市	音訳グループ木曜会	功労者	46年	長年にわたり、視覚障害者や高齢者のために音訳や対面朗読を行っている。作成したDAISY図書は国立国会図書館・サピエ図書館を通して、さいたま市内のみならず、全国で広く利用されている。また、今後も音訳ボランティアとしての活動を続けていくため、「音訳ボランティア養成講座」を開設している。	情報保障、学習	視覚障害、発達障害等
43	浜松市	ぺんぎん村水泳教室	功労者	29年	障害児・者のための水泳教室である。パラリンピックメダリストの鈴木孝幸選手をはじめ、多くの競泳選手を輩出しているだけでなく、重度重複障害児・者も受け入れている。障害への理解を深めることを目的に、市民プールを拠点として活動している。	スポーツ、学習	すべて
44	大阪市	一般社団法人 大阪市視覚障害者福祉協会	功労者	40年	視覚障害者の社会参加や人間関係づくりを促進し、変化の激しい社会で生涯にわたって学ぶ機会を提供している。成人学校では、寄せ植え作りや音楽療法で、身体感覚を使った学習活動を行っている。国語教室では、普段の生活場面を取材し構成した内容で学習を進めており、受講者に好評である。	情報保障、学習等	視覚障害
45	全国特別支援教育推進連盟	同窓会旭出あおば会	功労者	21年	卒業生を対象に、あおば会ニュースの発行、余暇活動、就労定着支援、生活相談を行っている。中心となる余暇活動では、スポーツや音楽、美術など、自分で選択したグループ活動に分かれて仲間と共に楽しみながら学んでいる。卒業生にとって「心のよりどころ」「自分の居場所」となっている。	学習、スポーツ等	知的障害
46	全国特別支援教育推進連盟	富山市手をつなぐ育成会「みんなの青年の会」	功労者	31年	学校卒業後の知的障害者を対象に、月に1回程度、四季折々の行事を開催している。新入会員歓迎のバーベキュー大会や研修旅行、クリスマス会、ボウリング大会の他に、料理教室やアレンジフラワー教室をそれぞれ年4回実施している。また、自分たちで企画した学習会なども行っている。	学習、スポーツ等	知的障害
47	全国特別支援教育推進連盟	日本ハンドサッカー協会	功労者	12年	肢体不自由児者及び重度重複障害児者を対象としたハンドサッカーを全国に広げるとともに、特別支援学校卒業生のスポーツ活動の推進を目的として活動している。ハンドサッカーは東京都の特別支援学校がつくったアダプテッドスポーツであり、卒業生チームは10チームほどになり、大会も開催している。	スポーツ	肢体不自由、重度重複障害

48	日本障がい者スポーツ協会	特定非営利活動法人 日本視覚障害者柔道連盟	功労者	35年	パラリンピックをはじめとする様々な国際大会で活躍できる選手の育成、国内の視覚障害者柔道の競技力向上の推進、そして選手や関係者のための環境整備を行っている。また、視覚障害者が気軽に柔道を始められるように地域で体験会等を開催するなど、柔道を通じて障害者の生涯学習支援活動を行っている。	スポーツ、学習	視覚障害
49	日本障がい者スポーツ協会	特定非営利活動法人 日本ブラインドマラソン協会	功労者	36年	パラリンピックをはじめとする様々な国際大会で日本選手が活躍できるように、強化合宿や海外派遣など、競技力向上を推進している。また、視覚障害者がいつでも気軽にマラソンができる環境づくりとしてガイドランナーの育成や練習会等を開催するなど、マラソンを通じて障害者の生涯学習支援活動を行っている。	スポーツ、学習	視覚障害
50	全国芸術系大学コンソーシアム	齋藤 啓子	功労者	11年	障害者自立支援活動の企画・運営・広報に関わり、地域における「関係のデザイン」「参加のデザイン」をテーマに、障害理解の促進と文化芸術振興に寄与してきた。障害者が主体的に社会とつながり学ぶ経験を提供することで、新しいコミュニティ形成の場が創出され、生涯学習の機会へとつながっている。	文化芸術	すべて
51	全国芸術系大学コンソーシアム	福島 治	功労者	11年	障害者が描いたアートを様々な企業や団体に有料で貸し出して障害者の社会参加や収入支援に結び付けたり、著名デザイナーと障害者がコラボした様々な商品を製作したりしている。また、障害者の描いた500点のアート作品を江東区深川地区の町中に展示する芸術祭を実施した。	文化芸術	すべて
52	2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた障害者の文化芸術活動を推進する全国ネットワーク	東京ふうせんバレーボール振興委員会	功労者	14年	障害のある人もない人も、幼児から高齢者まで一緒に参加して楽しめる、ふうせんバレーボールの活動を展開している。2007年に「健常者と障害者が共にできる、九州発祥のふうせんバレーボールを東京で普及してほしい」との声をきっかけに活動を開始し、みんなで楽しめるメニューを考案追加し年間延べ約2000人が活動に参加している。	スポーツ、学習	すべて
53	筑波大学	たいそう教室	功労者	17年	地域の障害児・者を対象とし、毎週1回1時間の定期的な活動と、学校の長期休暇期間に開催する季節イベントを行っている。大学院生が中心となり、筑波大学体育系アダプテッド体育・スポーツ学専門の教員の助言を受け、年間計画をもとに参加者一人一人の個別のニーズに着目したプログラムを実施している。	スポーツ	すべて

54	名古屋大学	ちくさ日曜学校	功労者	49年	名古屋大学教育学部内でサークルとして設立され、名古屋市の障害者青年学級事業の補助金を受けながら、長年にわたって障害者支援活動を行っている。活動は主に第2日曜日と第4日曜日に行われ、大学生が中心となって身近な行事や季節をテーマにした工作、実験、レクリエーションなどを実施している。	学習、文化芸術	知的障害、精神障害、身体障害
55	大阪体育大学	大阪体育大学 わくわくアダプテッド・スポーツクラブ	奨励者	5年	特別支援学校の生徒と卒業生を対象とし、月2回程度、一回90分の運動プログラムを実施している。活動は学生が主体となって企画・実践し、特別支援教育やアダプテッド・スポーツ科学を専門とする教員が助言している。運動の面白さや達成感を味わい、余暇や生涯スポーツの土台形成につながっている。	スポーツ	すべて
56	愛媛大学	愛媛大学教育学部附属特別支援学校同窓会（虹の会）	功労者	45年	卒業生同士の交友を深め、様々な活動とおして社会生活に必要な知識・マナーの習得を図り、生活経験の拡大を図ることを目的に活動している。活動は毎月1回、生涯学習活動としてテーブルマナー講座や地域の文化財散策、芸術体験・鑑賞、スポーツなどで、毎回約40名が参加している。	学習、スポーツ等	知的障害
57	福岡大学	福岡大学	功労者	12年	障害者スポーツの実施支援とさらなる普及を目的に、ソーシャルフットボール大会と障害者スポーツ体験・交流イベントを組み合わせた活動を行っている。2019年は九州・四国から約250名の選手が参加した。総合大学の強みを活かして「スポーツ」と「医学」の両面からサポートしている。	スポーツ	精神障害、視覚障害等
58	九州ルーテル学院大学	九州ルーテル学院大学 金曜教室	功労者	18年	毎週金曜日の夕方に、発達障害のある児童生徒を対象として、個別に学習支援や余暇支援、就職準備に向けた支援、メンタルサポートを行っている。2003年の活動開始から延べ200名以上の児童生徒の支援を行い、継続希望者の大半が小学生から高校生までの間、継続して支援を受けている。	学習	発達障害